

## 橋台の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

計算・CAD統合 3D配筋対応

H29道路橋示方書に準拠した  
橋台の設計計算、図面作成

プログラム価格  
¥389,000  
翼壁拡張オプション (H29道示対応)  
¥30,000  
Windows 7/8/10 対応  
電子納品 SXF3.1  
IFC 3D PDF  
有償セミナー

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、橋台の設計に対応したものです。

### 【H24道示対応製品との違い】

- 作用の組合せ: 以下のように変換

H24年道示	H29年道示	H24年道示	H29年道示		
常時(死荷重)	永続作用	D	常時(死荷重+活荷重)	変動作用	D+L
地震時荷重	変動作用	D+EQ	常時(温度荷重)	変動作用	D+TH, D+L+TH
衝突時	偶発作用	D+CO	常時(風荷重)	変動作用	D+WS, D+L+WS

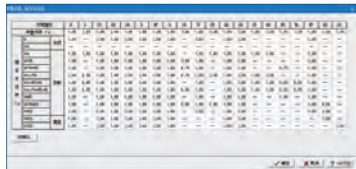
- 上部工反力: 死荷重はD, 活荷重はLとして設計に考慮。それ以外の温度荷重や風荷重についてはその他作用として考慮。

#### Ver.2 改訂内容

2018年1月31日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

#### ▼作用組合せ



#### ▼永続/変動作用組合せ画面



## 箱式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した  
箱式橋台の設計計算

プログラム価格  
¥389,000  
底版、翼壁拡張オプション  
(H29道示対応)  
¥50,000  
Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、箱式橋台の設計に対応したものです。

### 【荷重係数, 部材係数】

- 作用力に荷重係数、組合せ係数を考慮
- 部材の制限値に部材・構造係数等を考慮
- 部分係数データのファイル保存/読み込みが可能。下部工-基礎間で同じ係数を使用したい場合等に利用可能

### 【他製品との連動による設計】

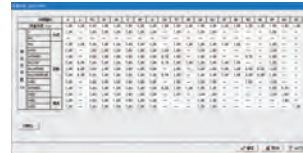
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「基礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」

#### Ver.2 改訂内容

2018年2月16日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

#### ▼荷重係数、組合せ係数画面



#### ▼計算書出力(作用力の集計)

項目	自重	土砂重量	過載荷重	その他荷重	合計	単位
自重	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
土砂重量	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00
過載荷重	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
その他荷重	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
合計	1.00	1.00	1.00	1.00	4.00	4.00

## ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した  
ラーメン式橋台の設計計算

プログラム価格  
¥284,000  
翼壁拡張オプション  
(H29道示対応)  
¥30,000  
Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、ラーメン式橋台の設計に対応したものです。

### 【部分係数法】

- H29道示に準じて適切な値が設定。係数を自由に変更可能。
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能

### 【他製品との連動による設計】

- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」

### 【H24道示道示対応製品との違い】

- 従来の隅角部の照査にかわり、端接合部の照査を行う。

#### Ver.2 改訂内容

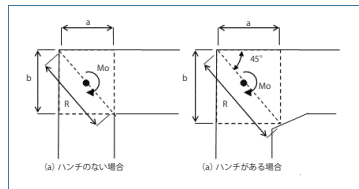
2018年2月20日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

#### ▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面



#### ▼端接合部の照査を行う断面(外側引張)



## フーチングの設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した  
フーチングの断面照査プログラム

プログラム価格  
¥78,000  
Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、フーチングの断面照査に対応したものです。

### 【部分係数】

- 係数の考慮は、自重、土砂重量、過載荷重、その他荷重
- フーチング下面の作用力、柱基部断面力、杭反力について、予め係数を考慮した値を直接指定
- 自重、土砂重量、過載荷重、その他荷重です。安定計算や柱、上部工計算を行いませんので、フーチング下面の作用力、柱基部断面力、杭反力については、予め係数を考慮した値を直接指定。

### 【他製品との連動】

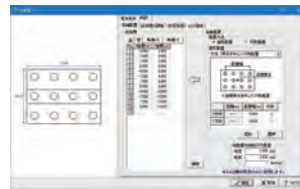
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」, 「橋脚の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」からエクスポートしたXMLファイルを読み込むことにより、形状、配筋、杭配置、荷重ケース等の諸条件の取り込みが可能

#### Ver.2 改訂内容

2018年2月20日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 基準値画面のコンクリート材質及び鉄筋材質の追加機能対応

#### ▼杭配置画面



#### ▼その他荷重画面

